

跡地利用基本計画（案）への主なご意見とご意見に対する市の考え方（抜粋）

※ページ番号は跡地利用基本計画のものです。

※ご意見とご意見に対する市の考え方（一覧）は、政策局基地対策課のホームページにて掲載します。

1 全体に関するもの

ご意見	市の考え方
整備スケジュールの短縮	<p>全体で77ヘクタールの大規模な事業ですので一定の事業期間が必要であることはご理解いただきたいと思います。</p> <p>しかし、段階的に整備を進めて、順次、部分供用を開始するなど、できるだけ早く市民の皆様にご利用いただけるように努めていきますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。</p>
民間活力の導入や公民連携による事業費・維持管理費の縮減	<p>今後、公民連携や民間活力の導入などを行い、魅力の向上や市事業費負担の削減に努めます。</p>
歴史をしっかりと残す工夫をしてほしい	<p>いただいたご意見は、対応する方向で関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>【「歴史」に関する表記を追記しました。(p. 4、p. 13)】</p>
トイレ、休憩所などの施設の整備	<p>いただいたご意見も参考に、今後、実施予定の公共施設ごとに定める基本計画や設計において詳細を検討します。【休憩施設（トイレ、ベンチ等）については導入機能・施設の主な施設例として追記しました。(p. 13、p14)】</p>
防犯面を十分に検討してほしい	<p>いただいたご意見は、関係部署で共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
地域活性化を考えると、商業施設などの整備が必要	<p>旧深谷通信所は、災害時に広域的な防災拠点として利用できる防災機能の充実を図るとともに、豊かな自然環境を創出し、市民の活動拠点となる広場や多様な市民ニーズに応えるスポーツ施設を備えた、魅力的な公園の整備を目指します。また、全市的な課題を解決するために、将来に不足が懸念されている墓園や広域道路ネットワークと連携した整備を目指します。</p> <p>そのため、現時点ではご提案の施設を整備する考えはありません。</p>

2 公園・スポーツ施設に関するもの

ご意見	市の考え方
<p>施設整備の要望：</p> <p>テニスコート、ドッグラン、グラウンドゴルフ、既存樹木の維持、周辺住民の広場 等</p> <p>屋内・屋外プール、体育館、ゴルフ練習場 等</p>	<p>市民が楽しみながら元気になれる「健康・スポーツの拠点」をつくる計画を進めていきます。なお、現計画において、野球場の他にも様々なスポーツのできる運動広場などオープンスペースを活用した屋外施設などを導入する考えです。</p> <p>いただいたご意見は、関係部署で共有し、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>【ドッグランについては施設例として追記しました。(p.22)】</p> <p>そのため、ご提案の施設を整備する考えはありません。</p>
<p>野球場について</p> <p>返還前から現在までスポーツの拠点として使用してきた地域住民の活動の場を奪うことのないよう市民開放型施設と共存できる形にしてほしい</p> <p>小学生用4面・中学生用4面の計8面の多目的グラウンドを確保してほしい</p> <p>等</p>	<p>現行の暫定利用は、当面の措置であるため、現在の野球場などをそのまま存続する予定はありません。</p> <p>本計画は、様々なニーズやご要望などを踏まえ、硬式野球もできる野球場、運動広場、球技場、陸上トラック付き広場、テニスコート、ゲートボール、グラウンドゴルフなど多種多様なスポーツ施設を整備事例としてお示ししていますが、スポーツ施設の種類・配置は決定したものではなく、今後、公園の基本計画等において、詳細を検討していくものです。</p> <p>また、野球場の利用形態は、今後、検討しますが、基本的には市内の公園内にあるスポーツ施設と同様な利用方法（予約、抽選、有料利用 等）となることをご理解願います。</p>

3 公園型墓園に関するもの

ご意見	市の考え方
賛成（墓地の整備は必要である等）	<p>墓地は市民生活に不可欠な都市施設であり、急速に高齢化が進む本市においては、今後も継続的に供給していく必要がありますので、本計画の着実な推進に努めます。</p>
反対（墓地の必要性が感じられない等）	<p>平成29年度に実施した横浜市墓地に関する市民アンケート調査や、将来人口推計などから、平成29年から平成48年までの20年間で、公民合わせて約10万区画の墓地整備が必要であると推計しています。</p> <p>この需要に対して、民営墓地のみで応えることは難しく、本市では、大規模施設跡地の土地利用転換の機会等を捉えて墓地の整備を検討しています。</p> <p>なお、四季折々の草花を楽しむことができ、憩いの場として多くの人を訪れる緑豊かな公園型墓園を目指します。</p> <p>墓地は市民生活に不可欠な都市施設であり、急速に高齢化が進む本市においては、今後も継続的に供給していく必要がありますので、近隣の皆さまへ丁寧に説明し、ご理解が得られるよう努めてまいります。【「市営墓地の必要性について」を追記しました。(p.15)】</p>
整備するならば、合葬式が望ましい	<p>芝生型納骨施設と合葬式納骨施設の整備を計画しています。また、合葬式納骨施設の形態としては、樹木型、樹林型、慰霊碑型などを想定しています。いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
中央部に整備した方がよい	<p>中央に象徴となる円形の草地広場と見晴らしの丘を整備します。広域的な利用が想定される比較的大きなスポーツ施設を交通アクセスが良い立場駅や環状3号線に近い場所に配置します。富士山への眺望を確保するために、比較的高い建物の必要ない公園型墓園を中央よりやや西側に配置しました。</p>

4 道路・交通に関するもの

ご意見	市の考え方
<p>周辺の住宅への影響を十分に配慮してほしい</p> <p>外周道路の幅員 50mは過大ではないか</p>	<p>車道や歩道機能だけでなく、植栽帯を設け緑豊かな空間の中でウォーキングやジョギング、サイクリングなどが楽しめる、健康づくりにも寄与する幅員約 50mの外周道路を整備する考えです。</p> <p>外側（民地）には歩道や自転車道・副道を配置し、その内側（公園側）に植栽帯を設け車道を配置することを検討しています。さらにその内側には健康みちづくりとして自転車道やジョギング道、歩道、植栽帯を配置することを検討しています。【「外周道路の断面イメージ図（p.26）参照】</p> <p>なお、道路内の詳細な配置については、今後検討します。</p>
<p>駐車場の十分な整備が必要</p>	<p>駐車場については、広域的な利用を想定しつつ、日常的な利用に合わせ、適切な規模の駐車場を分散して整備します。また、イベント開催時やお彼岸など墓参のピーク時における臨時駐車場の設置などにより対応できる規模とします。</p>
<p>バス停はどうなるのか。</p>	<p>周辺の駅等から公園内の各施設や公園型墓園への来所及び周辺住民の移動手段として、現在運行している路線バスなどの公共機関が活用できるように関係機関と調整します。</p>

5 防災に関するもの

ご意見	市の考え方
災害時に必要となる施設整備の要望：	<p>災害による延焼火災の輻射熱や煙から生命・身体を守るために一時的に避難する「広域避難場所」として活用します。また、救援活動拠点としての機能を備えた施設を整備するなど、周辺・近隣地域の防災性の向上を図る考えです。</p>
防災備蓄庫、給水栓、トイレ 等	<p>災害時の課題への対応のために必要な機能及び貯水槽・災害対応トイレ・備蓄倉庫等の防災施設については、周辺防災関連施設の役割を踏まえ検討します。</p>
屋内型の避難所施設	<p>現在、横浜市防災計画(震災対策編)において、震災により住家を失い、または破損等により居住することが出来なくなった被災者の避難場所は、原則としてあらかじめ指定した地域防災拠点となっています。</p> <p>そのため、現時点では避難場所としての屋内施設を整備する考えはありません。</p>
災害時のヘリポート	<p>災害時には、中央の草地広場が飛行場外離着陸場（災害時の臨時ヘリポート）となることを検討しています。【「飛行場外離着陸場」に関する追記をしました。(p.7)】</p>
広域避難場所であるならば、特別に施設はつくらずに原っぱのままが良い	<p>旧深谷通信所は、災害時に広域的な防災拠点として利用できる防災機能の充実を図るとともに、豊かな自然環境を創出し、市民の活動拠点となる広場や多様な市民ニーズに応えるスポーツ施設を備えた、魅力的な公園の整備を目指します。また、全市的な課題を解決するために、将来に不足が懸念されている墓園や広域道路ネットワークと連携した整備を目指します。</p>